



熱気に包まれた2日間

南薩摩最大の夏祭り「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」が8月2・3日、枕崎漁港や市街地で開催され、2日間で延べ11万人の人数でにぎわいました。

今年のきばらん海は、台風の影響で一部中止となるプログラムも残念ながらもありませんが、実施されたプログラムでは各会場で盛り上がりを見せていました。

0人が浴衣やハッピーのほか、さまざまな衣装で枕崎音頭などを楽しく踊りました。

2日目は、大漁みこして39基のみこしが市街地を威勢よく練り歩いたほか、メインステージではFMラジオの生放送や各バンドによるライブが行われ、祭りを盛り上げました。

祭りのフィナーレとなる花火では、約1万発の花火と九州で唯一となる三尺玉花火が枕崎の夜空を鮮やかに彩り、観客を魅了しました。



Kibarankai Photo Snap

さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり

